

# 第36回青少年健全育成剣道大会 小学生団体の部 志染が3連覇達成 木刀による基本技稽古法、自由が丘が優勝

平成29年10月1日(日)三木市コミュニティスポーツセンターにおいて、三木市内の少年剣道教室から小中学生選手82名が集まり青少年健全育成剣道大会開催された。開会式では神澤大会会長の挨拶の後に、大西副市長、椎木子ども未来部長、井上体育協会会長からそれぞれご祝辞をいただき、続く選手宣誓では、吉川剣道少年団森本隆文選手、日原弘翔選手の両名が、息びつたり力強く宣戦した。

## 木刀による剣道基本 技稽古法の部 絶妙な間合い感で自由が丘優勝

静まり返った会場に、緊張した面持ちの選手達の息遣いがこだまする。市内8教室が参加した「木刀による剣道基本稽古法」の試合が始まった。選手たちが今大会のために各々で繰り返し練習し磨いてきた技を披露する。今大会では「基本1 一本打ちの技」から「基本9 打ち落とし技」まで、途中で区切ることのない通し演技での試合形式となり、やり直しの効かない文字通り一発勝負であるた

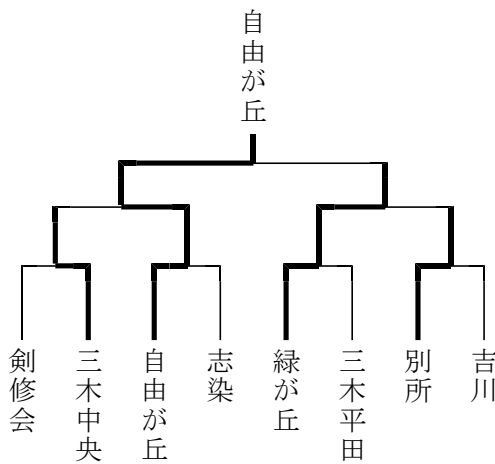
め、出場選手たちはより一層の緊張を強いられる中での試合となった。第一試合の剣修会(倉津・山田)対三木中央(前田・濱邊)は、三木中央が勝利し、第二試合の自由が丘(小林・中山)対志染(寺口・河野)は、技の冴えを見せた自由が丘が制した。続く第三試合の緑が丘(吉田・小島)対三木平田(川戸・松井)は両チームともに気迫あふれる接戦となったが、緑が丘に軍配が上がり、第四試合別所(市村・木下)対吉川(日原・森本)は、吉川が準決勝へと駒を進めた。続く準決勝第一試合の三木中央対自由が丘は、双方気迫十分の接戦の中、自由が丘



接戦を制し優勝した自由が丘の小林(右)・中山(左)組

## 自由が丘が優勝

が制し、準決勝第二試合の緑が丘対吉川では、緑が丘に軍配が上がった。静寂の中始まった決勝戦。会場全員が固唾を飲む中、両チームともに気合十分の技を披露したが、抜群の間合い感覚と技の冴えを魅せた自由が丘が勝利し、熱戦を制した。



小学生団体の部  
志染SSDが三連覇!  
小学生団体の部は、くじ引きにより4ないし3チームによる3つの予選リーグに別れてスタートした。



予選Aリーグは剣修会、三木中央、緑が丘B、自由が丘Bの4チームによる総当たりの中、剣修会は大將財田を負傷により欠きながらも大奮闘、4人一丸となつて攻め続け、2つのチームが3勝1敗でひしめく大混戦の中、

得本数差で決勝リーグへの切符を掴み取った。予選Bリーグは緑が丘A、志染B、吉川による3チームリーグで、2戦全勝で緑が丘Aが勝ち上がった。予選Cリーグは自由が丘A、別所、志染A、三木平田による4チームリーグで、自由が丘Aとの激戦を制した志染Aが3戦全勝で決勝リーグへと駆け上がった。続く決勝リーグでは、予選突破の勢いそのままに剣修会の4人が果敢に攻めの剣道を魅せたが、緑が丘A、志染Aの選手層の厚さに屈した。互いに1勝同士の緑が丘Aと志染Aによる優勝をかけた一番では、緑が丘宇賀田、志染河野の両大将が自軍に檄を飛ばす中、応援も佳境となり会場は熱を帯びた。両チームとも意地と意地のぶつかり合う熱戦となったが、主將河野率いる志染Aが競り勝ち、見事、今大会三連覇を成し遂げた。